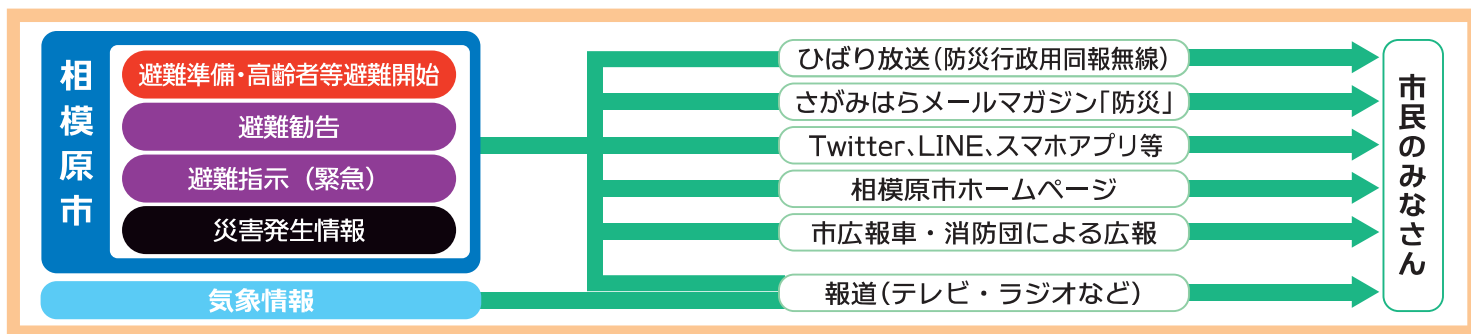


情報伝達の流れ

大雨になりそうな時は、気象情報や防災情報を確認しましょう。



情報の入手方法

気象情報や防災情報は、様々な方法で確認できます。自分の身を守るため、積極的に情報を入手しましょう。

市からの防災情報

● ひばり放送(防災行政用同報無線)

屋外スピーカーから緊急情報等をお知らせします。

● 市ホームページ(ひばり放送)

相模原市ホームページのトップページに表示されているひばり放送をクリックすると確認できます。

<https://www.bousai-mail.jp/sagamihara/hibari/>

● ひばり放送テレホンサービス

ひばり放送の内容を電話で確認できます。

☎ 0180-994-839

● さがみはらメールマガジン「防災」

①携帯電話等からQRコードを読み取る。
entry-sagamihara@bousai-mail.jp
②空メールを送信後、返信されたメールから登録。

● 相模原市 LINE 公式アカウント

ひばり放送の内容や河川水位情報等を受けとることができます。

● t v k (テレビ神奈川)

操作が簡単!

①テレビで 3ch (テレビ神奈川) を選局
②リモコンの「d(データ)」ボタンを押す

● Yahoo!「防災速報」



市からの避難情報や避難所の開設状況等をポップアップ通知でお知らせします。

● 三井住友海上「スマ保災害時ナビ」



地図上にハザードマップを表示したり、実際の風景上に避難所の方向を表示できます。多言語(英語、中国語、韓国語)にも対応。

● Twitter 相模原市に関する災害情報等を発信します。



https://twitter.com/sagamihara_kiki
相模原市災害情報
@sagamihara_kiki

● 相模原市ホームページ

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

情報の入手先

その他、インターネットなどからも情報を入手できます。

インターネット

検索したい名称を入力 検索

● 国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/portal/#83>

● 神奈川県雨量水位情報

https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/html/map/area/p10060_15.html
河川カメラ・雨量・水位情報を確認できます。

● 相模原市気象情報(予報・雨量を確認)

https://www.micosfit.jp/sagamihara_city/

● 神奈川県災害情報ポータル

<https://www.bousai.pref.kanagawa.jp/>

● 気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

災害時にいされる情報

災害が発生するおそれの高まりに応じて、5段階の「警戒レベル」を付して市から避難情報を発令します。みなさんは、警戒レベルに応じた行動をしてください。「警戒レベル3」が発令されたら、避難に時間のかかる方は、危険な場所からの避難を開始し、「警戒レベル4」が発令されたら、危険な場所から全員避難してください。

危険度の高まりに応じて段階的に発表される防災気象情報とその利活用

気象情報	気象庁等の情報	市が発令する避難情報等	市民のみなさんがとるべき行動	警戒レベル
大雨の数日～約1日前	早期注意情報(警報級の可能性)		災害への心構えを高める	1
大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報		ハザードマップ等で避難行動を確認	2
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	氾濫注意情報		3
	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始	
数十年に一度の大雨	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難勧告 災害が発生するおそれが極めて高い状況	4
			避難指示(緊急) ※避難指示(緊急)は発令されない場合もあります。避難勧告が発令されたら避難してください。 災害が発生するおそれが極めて高く、切迫した状況	
	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害発生情報 既に災害が発生している状況	5

指定河川水位の洪水予報として発表される情報

河川水位	洪水予報の種類	内容
氾濫発生	氾濫発生情報(相模川のみ発表)	氾濫がすでに発生している状況。命を守るための行動をとってください。
氾濫危険水位	氾濫危険情報	避難勧告等の発令判断の目安となる水位。自ら避難の判断をしてください。
避難判断水位	氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始等の発令判断の目安となる水位。高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。
氾濫注意水位	氾濫注意情報(相模川のみ発表)	氾濫の発生を注意する水位。
水防団待機水位	-	水防団が出動するために待機する目安となる水位。

大雨等の気象情報について

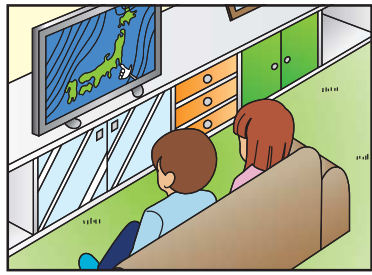
大雨や洪水に関する注意報・警報

次のような場合に、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれ著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼びかけます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	警報よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨により、浸水害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表	大雨 大雨により、重大な浸水害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表
洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	※「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません

記録的短時間大雨情報

大雨警報等が発表されている状況で、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨が観測・解析されたときに発表される情報です。(神奈川県では1時間雨量が100mm以上を観測されたときなどに発表)



ダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)

大雨でダムの水位が限界となった場合に、流入量とほぼ同じ量の水を下流に流す緊急放流を行うことがあります。緊急放流した場合には、下流の河川で急激に増水し、氾濫するおそれがありますので、速やかに河川から離れた安全な場所に避難してください。

なお、緊急放流の際には、電光掲示板やサイレンのほか、TBSや放送やツイッター等でもお知らせします。

雨の強さと降り方と災害の危険性

下の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難勧告が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量と予報用語	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響と屋外の様子	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる 車のワイパーを速くしても見づらい	道路が川のようになる	傘は全く役に立たなくなる 水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
災害の危険性	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要	側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある 小規模のがけ崩れのおそれがある	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要	土砂災害が起こりやすい 多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きい被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

川の防災情報(国土交通省)・神奈川県土砂災害警戒情報システム



降雨情報



洪水警報の危険度分布

- 洪水警報の危険度分布では、各河川の警戒レベルにより、色分け表示されます。
- 降雨情報(XRAIN)では、雨雲の様子を把握することもできます。
- 土砂災害危険度分布では、土砂災害発生の危険性に応じて、色分け表示されます。
- 川の水位情報では、マップ内の(川の水位情報)と記載した水位観測所の水位が確認できます。

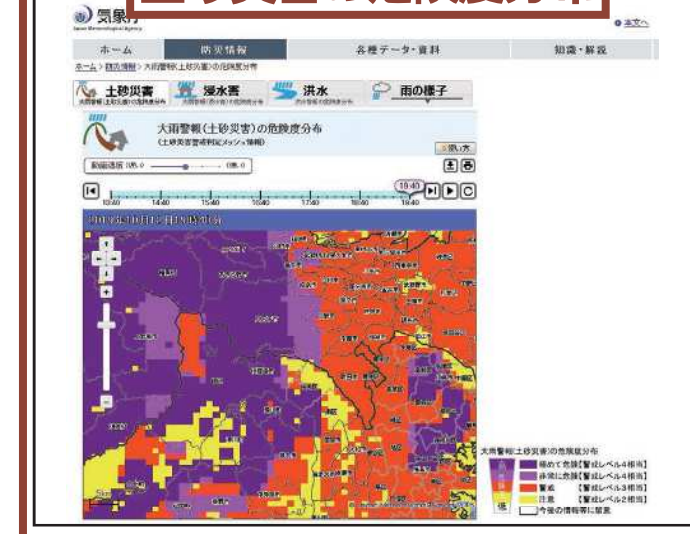


国土交通省 川の防災情報

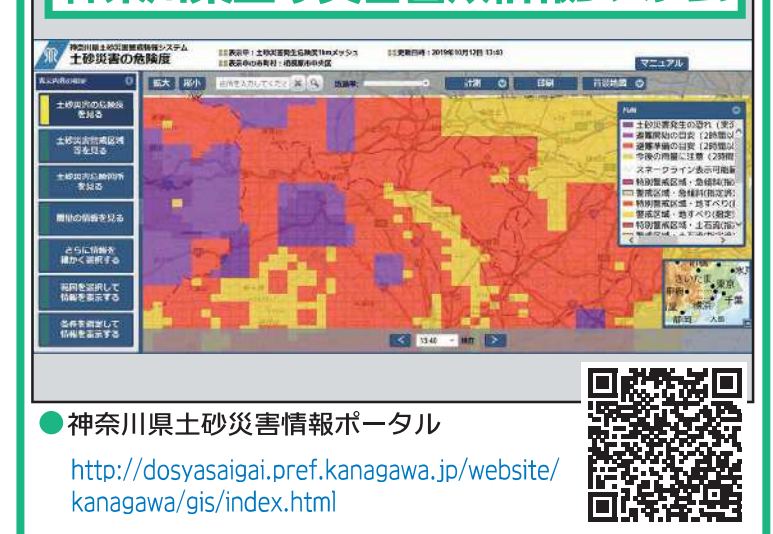
<https://www.river.go.jp/portal/#3>

※危険が迫っていないか、自ら確認して避難の判断をしましょう!

土砂災害の危険度分布



神奈川県土砂災害警戒情報システム



● 神奈川県土砂災害情報ポータル

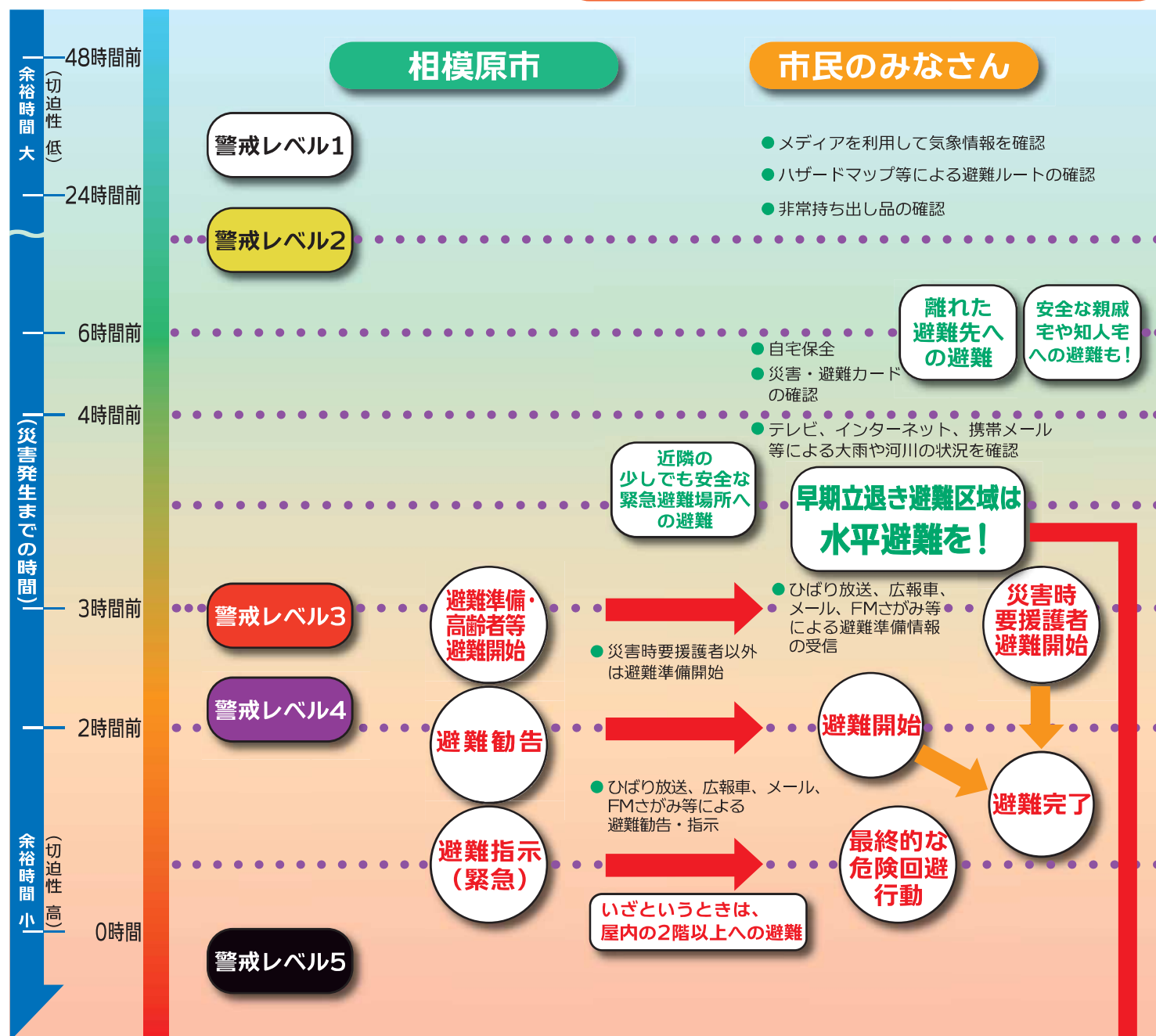
<http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>



大雨時の避難について

風水害時の行動 (タイムライン)

平常時に、マイ・タイムラインを作成しましょう！詳しくは、相模原市ホームページ
相模原市マイタイムライン [検索](#) をご確認ください。



早期立退き避難が必要な区域

「早期立退き避難が必要な区域」にお住まいの方は、立退き避難が必要となる場合もあります。

早期立退き避難が必要な区域

これらの区域では**立退き避難をしてください**

- 浸水深3.0m以上になる区域**
※建物1階建ての場合は、浸水深0.5m以上になる区域
- 洪水時に家屋倒壊の危険性がある区域**
(家屋倒壊等氾濫想定区域内)
- 河川周辺の区域**
※浸水想定区域外でも危険な状況となる可能性があります。

河川の近くは、川の流れにより(氾濫や河岸侵食により)堤防が決壊した場合に家屋が倒壊する危険性があります。市からの避難情報や川の様子に注意し、危険を感じたらすぐに避難してください。

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、正確な情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

- 状況により、すばやく避難**
避難情報などが発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- 家族には連絡メモを残そう**
外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。
- わが家の防災メモを持とう**
住所・氏名・連絡先などを記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
- 集団で助け合おう**
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
- 車での避難は控えて**
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
- 安全なルートで避難**
川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- 非常持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- 緊急避難場所では指示に従いましょう**
緊急避難場所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

通電火災に注意 家屋浸水等でコンセントや電気製品が濡れているところに通電した場合は、火災になることがあります。避難などで自宅等を離れる際は、**電気ブレーカーを落としましょう。**

立退き避難(水平避難)と近隣の安全な場所への避難・屋内安全確保(垂直避難)

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告が発令されていても、かけや浸水区域からはなれるだけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所へ移動するという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難することも必要です。

- 危険な避難** (Illustration of a person on a roof)
- 危険な場所からはなれる(立退き避難)** (Illustration of people walking away from a flooded area)
- 高所への避難** (Illustration of people moving to an upper floor)

土砂災害の危険がある場合 山と反対側の2階以上へ避難します。 何よりも命を守る行動を!!

どうしても緊急避難場所等にたどり着けない時や、浸水等による建物倒壊の危険が無いと判断される場合には、近隣建物の高層階や、自宅の2階以上へ緊急的に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

大雨時の地下は注意が必要 洪水や豪雨時の地下施設、地下室などは危険です。地上の浸水状況とは大きく異なり、冠水や停電の危険性が高いため、特に早めの避難が必要です。

- 地上が浸水すると一気に水が流れこみます
- 浸水すると電気が消えることがあります
- 地下駐車場、半地下住宅では、排水ポンプを設置し、浸水に備えましょう
- 水圧でドアが開かなくなることがあります

災害について知っておこう

浸水や洪水について

大雨が降ると河川等から水があふれます。浸水や洪水の発生メカニズムを知っておきましょう。

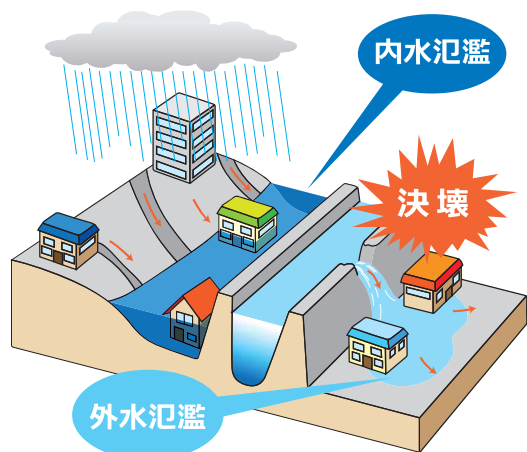
内水による浸水と洪水の違い

内水による浸水（内水氾濫）

雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

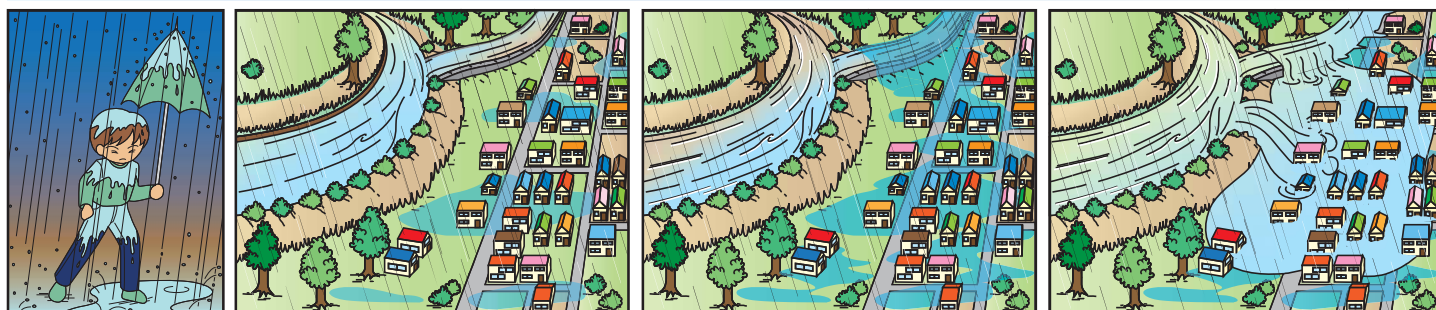
洪水（外水氾濫）

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。



内水による浸水（内水氾濫）の発生

洪水（外水氾濫）の発生



非常に激しい雨が降ると・・・
 雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まります。
 さらに雨が降り続けると、大きな河川の水位が上昇し、中小河川の排水が難しくなりあふれ出す恐れがあります。
 堤防が決壊すると、大きな被害が発生します。

災害時要援護者への支援

災害時要援護者とは、高齢者、身体障害者、知的障害者、精神障害者、乳幼児、病人、妊産婦、外国人など、災害に際して必要な情報を得ることや迅速かつ適切な行動をとることが困難な方です。避難が必要となった場合は、地域で協力しあいながら、災害時要援護者の安否確認、緊急避難場所への移動を支援しましょう。

高齢の方や病気の方には

背負ったり、ひじや肩につかまってもらったりして誘導しましょう。出来るだけ、複数の介助者で対応しましょう。



目の不自由な方には

誘導するときには、声をかけながら杖を持っていない腕のひじのあたりに軽く触れるか、腕を貸してゆっくり歩きましょう。



身体の不自由な方には（車椅子）

階段では必ず3人で協力し、上がる時は前向きに、下るときは後ろ向きにして、恐怖感を与えないようにしましょう。



耳の不自由な方には

話す時は、口をはっきりと開け、相手にわかりやすいようにし、手話、筆談、身振りなどで現在の状況を知らせましょう。



土砂災害について

土砂災害の種類と前兆現象

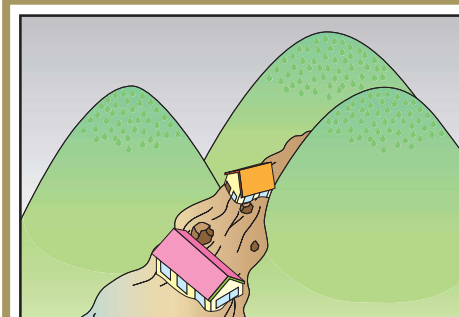
大雨や台風、地震によって、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害が引き起こされる可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

がけ崩れ



地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

土石流



大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止め一気に流れる場合があります。

地すべり



大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたって動きだすものをいいます。

土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

※下記は一般的な前ぶれです。すべての場所において必ず起きるといものではありません。

五感	移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視	山・斜面・がけ	●がけに割れ目がみえる。 ●がけから小石がパラパラと落ちる。 ●斜面がふくらみだす。	●溪流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がったります。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が濁りだす。	●川の水が異常に濁る。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさが急減する。
覚	樹木	●樹木が傾く。	●濁りに流木が混じりだす。	●樹木が傾く。
	その他	—	●溪流内の火花。	●家や擁壁に亀裂が入る。 ●擁壁や電柱が傾く。
聴覚（音）	—	●樹木の根が切れる音がする。 ●樹木の揺れる音がする。 ●地鳴りがする。	●地鳴りがする。 ●山鳴りがする。 ●転石のぶつかり合う音。	●樹木の根が切れる音がする。
嗅覚（におい）	—	—	●腐った土のにおいがする。	—

土砂災害警戒情報について

土砂災害警戒情報とは、大雨警報（土砂災害）の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、神奈川県と横浜地方気象台が発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害を嚴重に警戒し、市からの情報を入手して避難してください。また、**土砂災害警戒区域内にいる場合は、ただちに避難**してください。

※土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件や降雨の状況等により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、早めの避難を心がけてください。

※土砂災害警戒区域以外の場所でも土砂災害は発生します。注意してください。



家屋の風水害対策

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行きましょう。

- 屋根**
瓦のひび・ずれなどはないか。
トタンのめくれ・はがれはないか。
- 窓ガラス**
ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。
- ベランダ**
鉢植えや物干しざおなど飛散するものはないか。
- 雨どい・雨戸**
雨どいに詰まりはないか。
雨戸にガタツキやゆるみはないか。
- 外壁**
外壁に亀裂はないか。
板壁に腐りや浮きはないか。
- ブロック塀**
ひび割れや破損箇所はないか。
- 側溝**
道路の側溝や雨水ますの集水口は詰まっていないか。
※定期的に点検・清掃を行きましょう。
- 雨水浸透ます**
雨水浸透ますの中が土砂などで詰まっていないか。
※機能維持のため定期的に清掃を行きましょう。
- 周囲**
流されてしまうようなものはないか。

家庭でできる簡易水防

浸水が浅い場合には、土のう(なれば水のう)を設置することで、浸水防止に活用できます。

簡易水のうの作り方

ゴミ袋に水を入れる。

ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れると固定しやすく強度も上がる。

簡易水防1 プランター+ビニールシート

床下が浸水すると、床下収納のふたが開いて、水が入ることがあります。重しを置いて、水の浸入を防ぎましょう。

簡易水防2 簡易水のう+止水板

台所

わが家にあわせた備蓄を

災害時に必要になるものは、家庭の状況によって様々です。家族構成や状況に応じて必要なものを備蓄品に加えましょう。また、冷蔵庫の中の物も立派な備蓄品です。1~3日目までは冷蔵庫の中のものを使い、4~7日目はローリングストックで備蓄したものを活用するなど、工夫しましょう。

1~3日目

冷蔵庫や冷凍庫の食材を活用する

ご飯や食パン、野菜などを冷凍しておけば自然解凍により食べる事も可能です。停電のときは、クーラーボックスや保冷剤等を利用して食材を保護しましょう。

4~7日目

ローリングストックで備蓄した非常食を活用する

備蓄しておくとも良いもの

- 缶詰
- レトルト食品
- パックご飯
- フリーズドライ食品
- 乾麺

● 食べながら備えるローリングストックとは

ローリングストックは、保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく備蓄方法です。日頃から食べ慣れている賞味期限が1年程度のを意識的にストックして、月に1、2度食べるときに防災について考えるきっかけにしましょう。

①1食分多めに買う。
②1食分を食べる。
③食べた分を買い足す。

②と③を定期的に繰り返して備蓄を一定に保つ

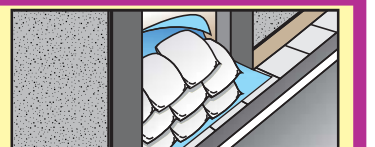
非常時に持ち出すものは

非常時(避難時)に持ち出すものは、災害の発生に備えて、普段からリュックサックなどの非常持ち出し袋に準備しておきましょう。なお、緊急避難場所では、原則として物資の配布は行いませんので、必要なものを持参して避難してください。

非常時持ち出し品(例)

- 飲料水
- 食料(アルファ化米・チョコレートなど)
- 予備のメガネ・コンタクトレンズ
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 靴
- 軍手
- 雨具
- リュックサック
- 貴重品(現金・保険証など)
- ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 筆記用具・ノート
- 下着・くつした
- 生理用品
- タオル
- 毛布・ブランケット又は寝袋
- 医薬品・常備薬・ばんそうこう・常用薬
- 予備の乾電池
- ナイフ・かんざり
- 非常食
- 粉ミルク・液体ミルク・乳幼児用食料・哺乳瓶
- ビニール袋
- オムツ(乳幼児用・成人用)

土のう 緑土木事務所、津久井土木事務所、中央土木事務所、南土木事務所では、道路から住宅等へ雨水が流入することを防止するための土のうを状況に応じて支給しています。必要な方は、あらかじめ電話等でご相談のうえ、各土木事務所でお受け取りください。



風水害時避難場所一覧

※開設する風水害時避難場所については、ひばり放送や防災メール等の市から発信する情報を確認して下さい。

P5、6 串川(洪水避難地図その1)		
名称	所在地	備考
鳥屋小学校	緑区鳥屋1321-3	土砂災害注意
鳥屋中学校	緑区鳥屋1339	土砂災害注意
串川地域センター	緑区青山1012	
串川小学校	緑区長竹1424	土砂災害注意

P7、8 串川(洪水避難地図その2)		
名称	所在地	備考
串川小学校	緑区長竹1424	土砂災害注意
串川中学校	緑区長竹1469	土砂災害注意
串川ひがし地域センター	緑区根小屋1619-1	
根小屋小学校	緑区根小屋1580	
中野小学校	緑区中野600	土砂災害注意
中野中学校	緑区中野960	土砂災害注意
津久井中央公民館	緑区中野633-1	土砂災害注意
小網地域センター	緑区太井252-1	
中沢中学校	緑区城山2-7-1	

P9、10 道志川(洪水避難地図その1)		
名称	所在地	備考
旧青根中学校	緑区青根1926	土砂災害注意
旧菅井小学校	緑区牧野11695	土砂災害注意

P11、12 道志川(洪水避難地図その2)		
名称	所在地	備考
青和学園	緑区青野原1250-1	土砂災害注意
青野原出張所	緑区青野原1250-1	

P13、14 道志川(洪水避難地図その3)		
名称	所在地	備考
津久井中央小学校	緑区三ヶ木39-7	土砂災害注意

25 ※備考に「土砂災害注意」と記載した風水害時避難場所は、土砂災害警戒区域が指定されているため使用範囲が制限されます。

避難時における感染症予防

新型コロナウイルス感染症等の感染症が流行している期間においても、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

● 知っておくべきポイント

- ①避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- ②避難先は、市が指定している風水害時避難場所だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ③避難の際には、マスク・消毒液・体温計は自ら携行してください。
風水害時避難場所では、マスクや消毒液等の感染症対策物品を用意していますが、数に限りがありますので、できるだけ自ら携行して下さい。
- ④豪雨時の屋外の移動は、車での移動も含めて危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

『防災への備え』のことなら
お気軽にご相談ください。

相模原市防災設備協同組合
〒252-0318 相模原市南区上鶴間本町4-48-18
TEL.042-740-1222 FAX.042-744-4169

- | | |
|-------------|-------------|
| (株)岡本商会 | (株)見上防災設備 |
| 相模設備工業(株) | (株)河本総合防災 |
| (有)ススム消防設備 | (株)初田商会 |
| (有)セーフティワン | (有)時田防災 |
| 東京消設(株) | (有)防災電設 |
| (株)東弘商会 | (株)カワゾエ |
| (株)アキタ | (有)相模共栄防災設備 |
| (株)ザイマックス防災 | (株)トータス |
| テクニカ神奈川 | |